



# みんなが望む／生涯学習施設を目指して

「つなぎ・育む」情報・文化・交流の拠点の整備に向けて

— 子どもから高齢者まで、多世代が集う交流拠点 —

## 1 生涯学習施設整備推進審議会 における議論の概要

審議会では、胎内市生涯学習施設整備基本構想等を踏まえ、多世代交流拠点としての施設のイメージを委員間で共有し、「どのような施設を目指すのか」という視点を大切に検討が進められました。そのうえで、複数の候補地について、敷地面積の確保やアクセス、利便性、周辺環境などを比較し、それぞれの特徴や課題について丁寧な議論が交わされてきました。

その結果、子どもから高齢者まで多くの市民が集い、学び、交流する拠点には、屋内外で多様な活動ができる環境が求められます。こうした点も踏まえ、アクセスの良さや敷地条件、運営面などの観点から、ほぼすべての委員が関沢地内（嘉平山）を最適とする認識に至りました。

このような審議を経て、本年3月、「建設地について、関沢地内（嘉平山）が最も適切である」とする答申が市に提出されました。

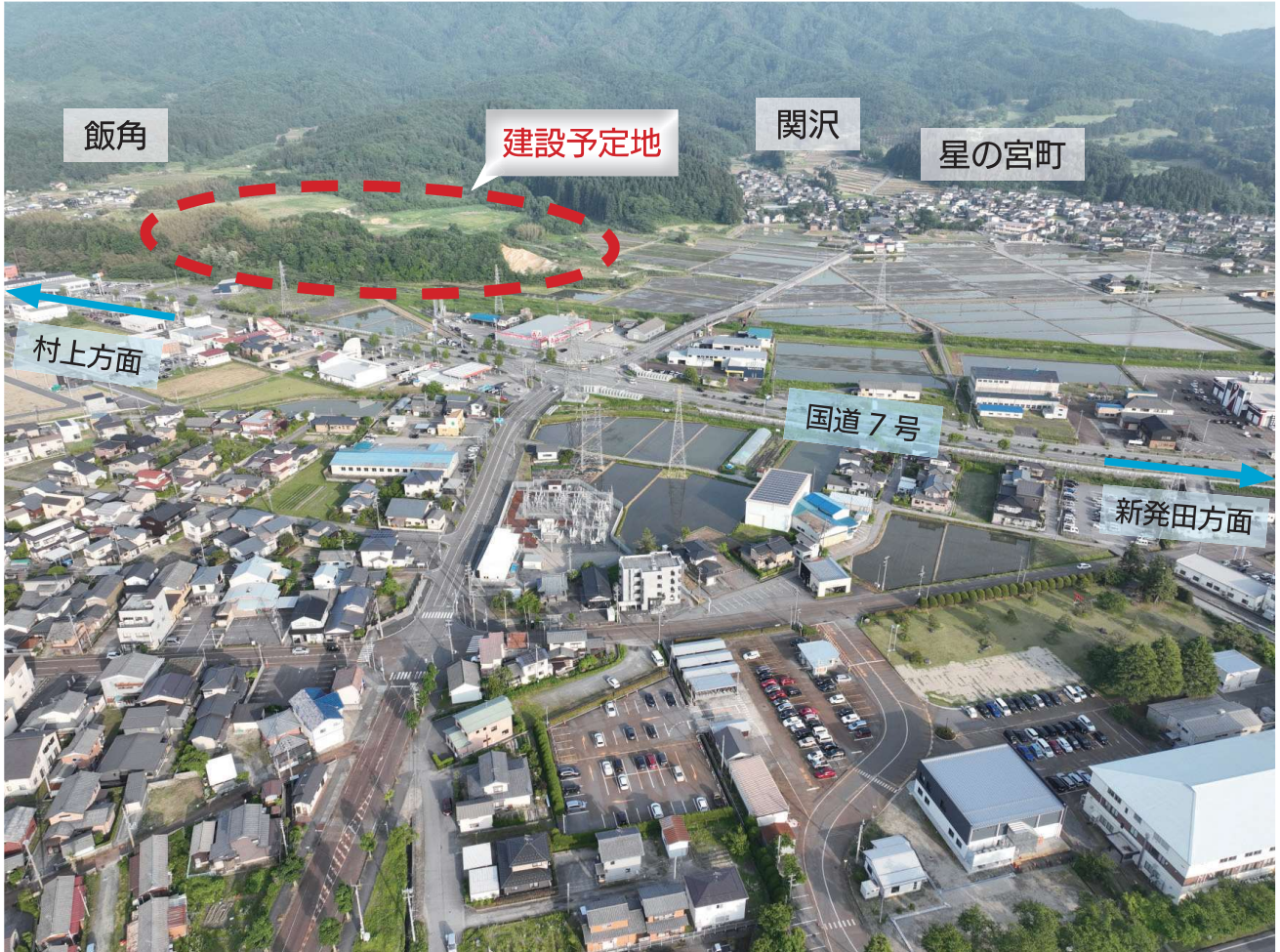
## 2 審議会の検討等を踏まえた 建設予定地の決定

市では、審議会の答申を尊重するとともに、パブリックコメント（意見公募）や座談会、市民説明会、各地区区長会との意見交換などを踏まえ、審議会での議論に加え、次の理由も考慮して建設予定地を関沢地内（嘉平山）と決定しました。

- 自然に囲まれた静かな環境である。
- 当該地の活用においては、一定の造成費はかかるものの、市有地であるため用地取得が不要で、工事などの整備を円滑に進めやすい。
- 施設を核とした将来の展開や周辺整備が可能である。
- 中学校統合に向けた検討内容（設置場所）と競合せず整合が図られる。

なお、乙や築地、黒川の地区公民館と同様に、中条地区においても現在の中央公民館や図書館が担っている施設の機能（役割）は、既存施設の活用等も含め引き続き維持していく方針です。

建設予定地内の中ほどから飯角方向を撮影（右側奥は櫛形山脈）



中条駅上空から建設予定地方面を望む（関沢地内（嘉平山））

### 3 今後のスケジュール ※1

今回の建設予定地の決定は、施設整備のスタートとなるものです。  
 今後は、施設の規模や配置、部屋の構成などについて検討を進めていきます。



時期	主な内容
令和8年度	基本設計 ※2 (4月以降) 公募型プロポーザル方式による事業者公募 ※3 (7月中) 事業者決定
令和9年度	実施設計 ※4
令和10年度	建設
令和11年度中	建設、竣工、開館準備、供用開始

- ※1 あくまで現時点の予定であり、今後の社会情勢の変化等により変更が生じる可能性があります。
- ※2 基本設計…施設のイメージや大まかな仕様についての設計を行うこと
- ※3 公募型プロポーザル方式…契約候補者を選定する入札方式の1つで、事業者を公募して価格だけでなく提案内容や専門性を総合的に評価するもの
- ※4 実施設計…施設を建てるための工事の基礎となる詳細な設計を行うこと

答申と胎内市生涯学習施設整備基本計画は、市のホームページに掲載するとともに、主な公共施設で閲覧していただくことができますようにしています。

#### 問合せ

生涯学習課社会教育係（内線：2213、2214）